

平成 27 年 1 月 13 日

ナジブ首相が来学
(マレーシア、サテライトオフィス報告)

1 月 8 日にナジブ (Mohammad Najib bin Tun Haji Abdul Razak) マレーシア首相が UTM KL キャンパスの Razak Tower のオープニングセレモニーに参加のため来学した。Razak はナジブ首相の父であり第 2 代マレーシア首相 (トゥン・アブドゥル・ラザク・ビン・ハジ・ダト・フセイン・アル=ハジ、Tun Abdul Razak bin Haji Dato' Hussein Al-Haj) にちなみ命名されたもので、その縁で来訪が実現した。当日は首相だけでなく、イドリス第 2 教育大臣やザイニ事務次官も訪れ、式典は盛大に行われた。

ナジブ首相は挨拶で、昨年末にマレーシア東海岸で発生した大洪水に触れ、治水や環境分野などにおける専門家の結集が必要であり、とりわけ大学の役割は大きいと語った。また、式典中、第 9 次マレーシアプラン (RMK-9) に呼応する UTM の基本計画書が発表された。報道によると、RMK-9 ではマレーシア政府は UTM KL に 1.56 億リンギット (約 60 億円) を投入し、本キャンパスを世界レベルの大学とすることが計画されており、今後の UTM のさらなる発展が期待される。

<http://www.bharian.com.my/node/28024>

また式典後に、首相等は Razak Tower の前庭に特設された研究展示ブースに赴いた。折からの雨にも関わらず、4 輪独立制御型の電気自動車の試乗や、ジョホールバルキャンパスの環境水資源研究所 (IPASA) 所属の移動実験室等の見学をし、UTM の技術を確認した。(記事文責: MJIIT・筑波大学准教授 岩本浩二)



(Razak Tower 全景)



(試乗中の Najib 首相)



(第 2 教育大臣 (中央) と共に: 左から、寺門 JICA 担当、岩本夫人、岩本准教授、梅宮 JICA 担当、イドリア第 2 教育大臣、後藤教授、ザイニ事務次官・筑波大学客員教授、教育省関係者 2 名)



(IPASA の移動実験室)